

ふんの町

— 第25号 —

令和6年(2024年)9月発行
発行者 一般社団法人
山口県身体障害者団体連合会
山口県山口市大手町9-6
TEL 083-928-5432
FAX 083-928-5436
(障害者ホットライン専用)
TEL 083-928-5580
メール: webmaster@syogai35.com
HP: https://syogai35.com/

令和6年度 第1回障害者アートセミナー (ハイブリッド開催)

会場: 山口県立大学、オンラインzoom

令和6年6月29日(土)

「障害のある人のアート活動の多様性～創造的な環境・鑑賞・仕事づくり～」

第1部は、たんぼぼの家(奈良県)からアートディレクターの吉永様とアーティスト(作家)の前田様をお招きし、日頃どのようにアートに取り組まれているか、どのような活動をされているのか、動画やお話を通じて生の声をお聞かせいただきました。第2部は、東京工芸大学名誉教授およびソーシャルデザイナーの福島様による対話型アート鑑賞を体験し、一つのアートから感じる多くのエピソードやコメントが生まれてきました。

このセミナーを通じてアートの無限の可能性を学ぶことができました。



令和6年度 障害者ICTサポーター講習(第1回)およびドローン体験会

会場: やまぐちリフレッシュパーク

令和6年8月21日(水)

午前中よりサポーター講習、午後からドローン体験会を開催しました。

サポーター講習では「山口県のデジタル化」について講演いただき、山口県内で多くのICTが活用され社会参加や情報入手が可能であることを学びました。ドローン体験会では小学生から大人までチームで力を合わせてゲーム(3種目)を通じてドローン进行操作する際の注意点、コントローラーの使い方などを学び対戦しました。コントローラーを工夫することで障害のあるなしに関わらず誰でも楽しめ大いに盛り上がりました。



カップ落とし



シュート



フィッシング



サポーター講習

じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金

この会報の一部は共同募金配分金により発行されています。

令和6年度 山口県障害者交流ボードゲーム大会 (将棋、オセロ、健康マージャン)

会場：山口県身体障害者福祉センター

令和6年8月10日 (土)

猛暑の中、障害の有無に関わらず、会場内では各部門熱い対戦が繰り広げられました。



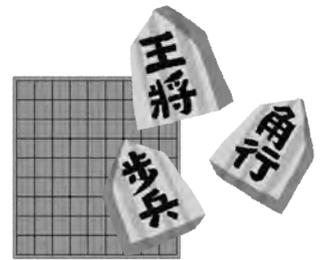
将棋の部

- 優勝 松本 拓也さん (防府市)
- 準優勝 沖 勸介さん (山口市)
- 第3位 岩井 信昌さん (山陽小野田市)



優勝 松本拓也さんの感想

今年の大会は、昨年より参加者が数人増えて8名でした。8名全員による総当たりリーグ戦で対局が開始されました。苦戦した内容の対局もありましたが、幸運にも全勝で優勝出来て大変嬉しかったです。また、総当たりで7局も指したので少し疲労感がありましたが、充実感があって良かったです。又この大会が来年も開催される事を期待しています。大会関係者の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。



オセロの部

- 優勝 土川 憲昭さん (柳井市)
- 準優勝 大濱 大輔さん (宇部市)
- 第3位 高雄由紀子さん (下関市)



優勝 土川憲昭さんの感想

試合前に友達から「大会頑張ってください」という応援の手紙をもらい喜びで胸がいっぱいになりました。試合はとても緊張しましたが、ずっと決勝戦に出場したいと思っていたので勝利したときはとても嬉しかったです。試合後は緊張が解けてほっとしました。一緒に見ていた家族も喜んでくれました。いつも支えてくれる家族に感謝の気持ちを伝えたいです。これからもオセロを続けていこうと思います。



健康マージャンの部

- 優勝 大平 悟さん (山口市)
- 準優勝 竹内 幸廣さん (山口市)
- 第3位 松尾洋一郎さん (下関市)



優勝 大平悟さんの感想

連日の猛暑の中、エアコンがほどよく効き心地よい会場で数年ぶりに健康マージャン大会に参加しました。久しぶり会う人たちと談笑し懐かしくもあり楽しく一日を過ごしました。競技は午前中予選で、午後から決勝戦。半荘2回して持ち点が一番多い人が優勝。オーラスで私と2位のTさんとの点棒差が約2000点。緊張しましたが、見事役牌のみ1000点で上がり逃げ切り成功。優勝することが出来ました！宮原会長、スタッフの皆さん、また重枝先生、大変お世話になりました。ありがとうございました(^)



一句：蟬時雨 味方に付けて 積もる牌

第12回山口県障害者交流カラオケ大会 -オンライン予選会-

令和6年7月14日(日)、16日(火)、17日(水)、19日(金)、8月8日(木)



令和6年度山口県障害者交流ボードゲーム大会(オンライン予選会)

令和6年7月10日(水)、11日(木)、12日(金)

県内各地からオンラインzoomでご参加いただき、他施設や病院の対戦相手とつながりオセロの対戦をしました。勝ち上がった方は8月10日(土)の本大会へ出場しました。



令和6年度 障害者わくわく体験教室・ステップアップいきいき講座

会場：山口県身体障害者福祉センター

令和6年7月13日（土）

写真講座、書道講座、料理講座の合同開講式・第1回講座を開催しました。書道講座と料理講座で作った作品と料理は受講された皆さんへのお土産となりました。また会報に掲載している写真は、写真講座を受講された方に撮影していただきました。

写真講座



書道講座と料理講座

に熱心に取り組まれている受講生の姿を撮影しました。写真から皆さんの温かい気持ちが伝わってきました。

書道講座



先生の助言を受けながら、好きな字や言葉、絵を思い思いに自由に半紙やハガキに書き、すだれや小物にしてお土産にしました。

料理講座



開口笑（かいこうしゃお）というゴマ団子に挑戦しました。それぞれ助け合いながら美味しいお土産ができました。



書遊 書遊ワークショップ

会場：クリエイティブ・スペース赤れんが

令和6年8月23日（金）

字の形にこだわらず、絵やシールも活用しながら黒や色筆ペンを使って、5歳～大人まで自由な「書」に挑戦しました。しおり、ハガキ、ペーパーウェイト、コースターなどに変身させることで今年の夏の思い出の一つとなるような作品が出来上がりました。



令和6年度 障害者ステップアップいきいき講座

第2回書道講座

会場：山口県身体障害者福祉センター

令和6年9月7日（土）

大きな筆、細い筆、柔らかい筆など、さまざまな種類の筆を使って好きな文字を「書」にすることに挑戦する方、山口県障害者芸術文化祭作品展に出展することを目標に何度も何度も「書」を練習される方、それぞれの目標に向かって講師からのアドバイスを受けながら「書」に取り組みました。



県身連加盟団体紹介

No. 4

公益社団法人 日本オストミー協会山口県支部
支部長 知利川 政巳

皆様こんにちは。公益社団法人日本オストミー協会山口県支部の知利川と申します。

オストミー協会とは何らかの傷病により失ってしまった排泄機能の代わりに、人工的に排泄口を腹部などに造設した患者（オストメイト）の会です。

令和6年度の取組として

- ① 個人を特定する事なくオストメイトの社会的認知度の向上
- ② 会員数の増強
- ③ 災害時の装具の公共での備蓄
- ④ 排泄管理支援用具の給付基準額の引き上げについての活動を行っています。



ポスターや講演会にてオストメイトの知名度 UP、市町・病院の窓口にて正しいオストメイトのフォロー及び相談会への参加依頼。災害時の備蓄に関しては、岩国市では2週間分の個人所有物持参での備蓄を行っており、各市町に拡げる活動を強化しています。給付基準額の引き上げに関しては、昨年からの各市町に要望書の提出を行っており、昨年度は岩国市・宇部市で結果が出ております。今年度も意欲的に活動し、オストメイトの QOL の向上に努めます。

リボン運動☆みなさんはいくつ知っていますか?? No. 16

社会問題や難病に対して、世界で統一した色のリボンを身につけ、支援を表明するために身につけるアイテムを“アウェアネス・リボン”と言います。アウェアネスとは、気付き・認識という意味です。

そして、身につけたリボンをブログに載せたりして周囲に理解と支援を広めようとするのがボランティア活動にもなります。



16、ティール&ホワイトリボン 子宮頸がん



「ティール&ホワイトリボン」は、近年20代~30代の若い女性に増えている子宮頸がんの啓発のシンボルです。

★悩んでいるのはひとりじゃないということ★

女性特有のがん（子宮頸がん・乳がん）体験者を応援する自助グループ「オレンジティ」はがん経験者同士おしゃべりをしながら分かち合い、一緒に乗り越えていくことを応援する認定NPO法人です。



認定NPO法人オレンジティ HP参照

| リボンの色と意味 | |
|-------------|------------|
| 1イエロー | 障害者の自立 |
| 2オレンジ | 児童虐待 |
| 3シルバー | 発達障害 |
| 4パズルリボン | 自閉症 |
| 5ピンク | 乳がん |
| 6ホワイト | 妊産婦の命を守る |
| 7きみどり | 親子の絆 |
| 8透明 | 見えない障害 |
| 9うぐいすリボン | 表現の自由 |
| 10そら色 | 性同一性障害 |
| 11レインボー | 同性愛 |
| 12ゴールド | 小児がん |
| 13グリーン | 移植医療普及 |
| 14レッド | エイズ |
| 15ブラウン | 北方領土返還・禁煙 |
| 16ティール&ホワイト | 子宮頸がん |
| 17ブラック | 哀悼・ネット上の自由 |
| 18フラグリボン | 9.11の犠牲者へ |
| 19パープル | 女性に対する暴力根絶 |
| 20ブルー | 拉致問題 |

リボンの種類は他にもあります

山口県障害福祉サービス協議会（障サ協）

・令和6年7月5日、令和6年度第1回研修会「ご本人の思いへのアプローチ～意思決定支援と医療同意～」を会場（山口市内）とWebでのハイブリッドで開催しました。（下段の写真は当日の研修会風景）

淑徳大学副学長・教授の鈴木敏彦氏を講師に、支援者として意思決定支援と医療同意が必要な場面での「本人中心の障害ケアマネジメント」に必要な取組やガイドラインなどについて御講義いただきました。

・障サ協は平成25年（2013年）4月に、身体障害、知的障害、精神障害等の障害種別や事業種別を超えた組織として設立しました。介護、就労、自立訓練、居住、相談支援、児童の6部会と、組織運営、研修、広報の3委員会により各種事業を展開しています。

・研修委員会では支援現場における様々な課題をテーマに研修会を企画、開催しております。今年10月22日には合同会社ABC研究所 代表社員 今本 繁氏を講師にお迎えし、令和5年度に開催した自閉症スペクトラム支援の続編を開催予定です。詳細が決まり次第、障サ協ホームページ等で御案内いたします。

■問合せ先■

〒753-0072 山口市大手町 9-6 山口県社会福祉会館内
 社会福祉法人 山口県社会福祉協議会 総務企画部 福祉振興班
 山口県障害福祉サービス協議会（障サ協）事務局
 TEL：083-924-2799 FAX：083-924-2798
 E-mail：syougai@yg-you-i-net.or.jp
 障サ協 HP：https://ymg-sfs.jp



山口県重症心身障害児（者）を守る会からのお知らせ

今年は4年ぶりのご来賓をお招きして支部総会をしました。

来賓合わせて40名の参加者がありました。

柳井医療センターの医師大森啓充先生を講師にお招きして栄養についての講演をしていただきました。骨がもろくなりやすいためとても貴重なお話でした。
 親の高齢化・医師不足・看護師不足・虐待などのさまざまな問題についても取り上げ協議、政策に反映できるよう訴えかけています。

9月28日・29日東京で全国大会があります。

10月26日には岡山でブロック大会が行われます。



■お問い合わせ■

重症心身障害児（者）を守る会山口県支部
 支部会長 清水
 TEL 0833-43-3094

山口県身体障害者団体連合会・山口県障害者社会参加推進センター

★HPやFacebookも更新中です★

各行事のご案内やご報告等、
 随時更新しています！見てください♪



Facebook

↓
 「山口県身連」
 で検索してね!!

山口県手をつなぐ育成会

きららの会の活動 山口県いきいきサポート事業（リーダー養成研修）



6月15日～16日に山口県いきいきサポート事業(リーダー養成研修)を火の山ユースホステルで開催し、30名が参加しました。

一日目は下関市の出前講座「防災に備えて(DIG:もしもに備える)」を受講し、防災リュックの作り方・段ボールベッドの組み立てを学びました。防災リュックの重さ・段ボールベッドの寝心地・防災トイレの様子を実際に体験をしながら、日頃の備えの必要性を考えました。



二日目は11月に長門市で開催予定の第49回山口県手をつなぐ育成会福祉・教育振興山口県大会本人大会「話し合い部会」本人決議のため意見を出し、丁寧に話し合いました。

仲間と協力しながら段ボールを組み立てたり、地域での生活について話し合うことを通して絆を深め、充実した2日間となりました。



問い合わせ先

山口県手をつなぐ育成会 事務局

〒753-0072 山口市大手町9-6 山口県社会福祉会館内

電話 083-925-2424 FAX 083-925-2212

山口県知的障害者福祉協会

【令和6年度山口県知的障害関係施設親善球技大会】

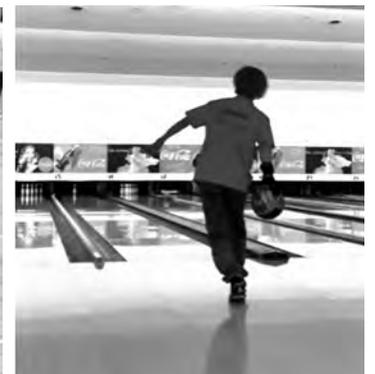
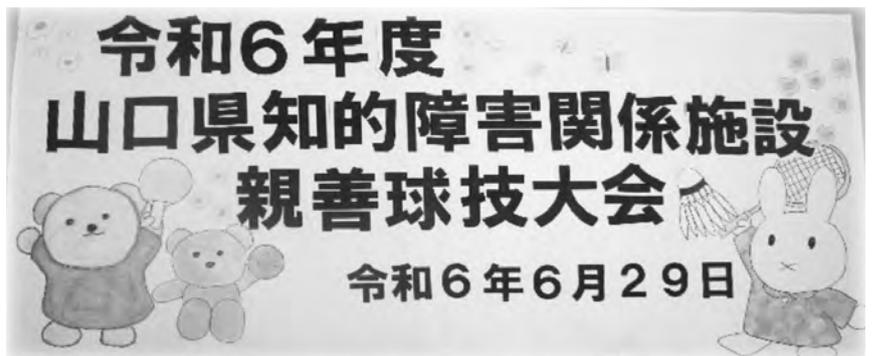
令和6年6月22日(土)・29日(土)の二日間 知的障害関係施設親善球技大会(県予選会)が開催されました。

22日はボウリング王国スポーツ小郡にてボウリング競技を開催しました。マイボールにマイシューズ、ユニフォームを揃えて参加する施設もあり、皆さんとても気合が入っていました。ストライクが出ると、選手同士ハイタッチし、みんなで喜び合う姿がとても印象的でした！

29日は維新百年記念公園にてバドミントン・ポッチャ・卓球競技を行いました。今年度は学生ボランティアに大会看板を作成していただき、側で記念撮影する参加者の姿が多くみられました。

今年度の中国大会は島根県で開催されます。

中国大会へ勝ち進んだ選手の皆さん、優勝目指してがんばってください！！



国立県営 広島障害者職業能力開発校

障害のある方々に、様々な職種についての知識や専門的な技術、技能を習得していただくために、職業能力開発促進法に基づいて国が設置し、県が委託を受けて運営する職業能力開発施設です。(授業料無料 寮有り)

ただいま令和7年度4月入校生募集中です。

募集期間 令和6年8月26日(月)～10月15日(火)

| 訓練期間 | 訓練科目 | 定員 |
|------|----------------------|-----|
| 2年 | CAD 技術科 | 15名 |
| | 情報システム科 | 10名 |
| | Web デザイン科 | 10名 |
| 1年 | OA ビジネス科 | 17名 |
| | 音声パソコンコース (OA ビジネス科) | 3名 |
| | 事務実務科 | 10名 |
| | 総合実務科 | 30名 |
| 6か月 | チャレンジコース (総合実務科) | 5名 |



校舎の風景



実習風景 (CAD技術科)

※詳しくは、ホームページ 又は、お問い合わせください。



【お問い合わせ】

広島障害者職業能力開発校

〒734-0003 広島市南区宇品東四丁目 1-23

TEL082-254-1766 FAX082-254-1716

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/188/>

又は、居住地を管轄する公共職業安定所 (ハローワーク)

第30回山口県障害者芸術文化祭

～ 「共生社会」の実現をめざして ～

障害者が中心となった総合的な芸術文化祭を開催することにより、障害者の社会参加を図り、障害のある人とない人とのより一層の交流を深めるとともに、芸術の質の向上を目的としています。

応募作品募集中

(絵画・書道・写真・手工芸・文芸・俳句短歌)

※作品の提出は11月です。

応募作品は未発表のもので1人(団体)1点とし、山口県内の身体障害、知的障害、精神障害(発達障害を含む)、その他の心身の機能に障害がある、またはその障害に準ずる方であれば誰でも応募できます。

応募は9月25日(水)までに各市町障害担当課、各市町社協、各施設等に作品応募申込書を提出してください。

応募作品展示会

日時 令和6年11月19日(火)～11月28日(木)
※11月25日(月)は休み

応募された全作品を展示します。

場所 山口県政資料館

申込方法などご不明な点がございましたら下記事務局までお問い合わせください。

【事務局】 山口県障害者社会参加推進センター

〒753-0072 山口市大手町9-6

TEL: 083-928-5432 FAX: 083-928-5436

メール: webmaster@syogai35.com